都山流尺八
開軒４５周年（&古希）記念

森　佳久山

尺八リサイタル

― Program ―

司会　菅井 愛

1. **雲井獅子**　宮田耕八朗編曲
   指揮 乙黒晋山　尺八独奏 森 佳久山　箏 菅井 愛
   ―尺八―
   竹林会)　山崎照維山
   竹生会)　大竹義雄・森田天山・冨田翰山・穂積政美・青木生雀
   岩澤生鵬・須田朗山・堀　保之・黒武者翔山・中野兆山
   篁山会)　平賀甲斐山・山川響山・岩間幹山・宮崎津山
   東京邦楽合奏団)　大川礼峰山・林　嵐山・米山良山
   現代邦楽研究所 OB)　山口賢治・細山伶観・遠藤鈴匠

2. 都山流尺八本曲　**木枯**　流祖中尾都山作曲　尺八 森 佳久山

―お話　中井 猛―

3. **末の契**　松浦検校作曲
   三絃 富成清女　箏 富緒清律　尺八 森 佳久山

―休憩―

4. 尺八三重奏曲　**風動**　杵屋正邦作曲
   第Ⅰ尺八 森 佳久山　第Ⅱ尺八 穂積政美　第Ⅲ尺八 山口賢治

5. **秋の断章**　委嘱・初演　石井由希子作曲
   箏 樹本佳音里　十七絃 水野由果梨　尺八 森 佳久山

2009 年８月２６日（水）
19：00 開演（18：30 開場）
めぐろパーシモンホール・小ホール

高安の里

地唄・箏曲研究家　中井　猛

少し前に、テレビの古典文学の時間を見ておりますと、＜伊勢物語＞の「筒井筒」の件（くだり）をやっておりました。ここは業平が河内の高安の里へ通う話で有名な場面なんのですが、私は高安と言いますと、森さんが大学を出て、就職し、結婚して初めての頃（昭和４０年代初め）に住んでいた大阪の南の、近鉄線の河内山本と高安でして、そこへよく泊ったものですから、そのことの方をすぐ思い出してしまいます。

上方に残る地唄の大事な曲を尋ねて、わずかな謝礼と汽車賃を工面して京大阪へ向かうわけですが、夜行は時間がかかるし寝台は高いしで困っております時に、「僕のところにおいでよ」と言ってくれたのが森くんなんです。

森くんはああ見へても中々多芸でして、東京の頃うちに遊びにきている時でも、尺八はそこそこに、どこかで三絃を買ってきて教えてくれと言いますし、そのうち胡弓を求めて来て、宮城道雄の「春陽楽」の“さくら”までやって、こわいもの知らずで何かの会に出たこともありました。ですから高安の新居には家内の昌子さんの箏がありましたし、三絃も胡弓も、と言う具合い、私にとってはまことに極楽でした。どうしてもっと早く、森くんの新居に気が付かなかったのかと、我ながら不明を喞つ次第でした。

といいますのも、早朝に東京を発って午後に稽古をして頂いて、夜高安に帰りつくわけですが、森くんは待っていてくれていて、昌子さんは一杯を用意して、懐かしいサイコロの風呂（失礼）で汗を流して早速に旧交を温めると、やはり極楽でしたね。

翌朝は、亭主の森くんはサッサと起きて会社に出かけ、居候の私は長女の由佳子に起こしてもらって、朝から三味線を弾いておりましたが、思えば近所は森家をどんな目で見ていたことでしょうね。

こうしてこの高安で曲節を確認し、今日の譜に仕上げていった曲の中には「木遣」「冬草」「町尽くし」「おふさ」といった地唄にとって貴重なものばかりであったことを、思い出して改めて感謝致するしだいであります。　　こつづきは・・舞台で・・

御祝いと激励のことば

井口國雄（主催者竹馬の友）

森博明（佳久山）君　この度は開軒４５周年と古希を迎えられ誠におめでとうございます。
このような人生の節目の年に、長年研鑽してこられた尺八のリサイタルを開催されること重ねてお祝い申し上げます。

森君とは、先輩三木露風の「赤とんぼ」で知られる播磨平野の里、清流「揖保川」のほとりで共に幼少から多感な青春時代を過ごしてきました。また社会人となってからも、会社こそ違え同じ損保業界に身を置き、現在まで親しくお付き合いをさせて頂いております。

彼は非常に真面目・几帳面な性格で、また何か始めるとそれに熱中する情熱的な一面もあり、それが良き先生方や素晴しい仲間との出会いに恵まれ開花し今日までの活動に繋がったものと思われます。

我々が日頃忘れがちな「日本人の心」を、古来伝統の邦楽（尺八）を通じて、これからも社会に還元していって下さる事を願っています。今後とも益々元気で活躍されることを心より祈っています。最後になりましたが、本日このように皆様方がご多忙な中を多数ご来場頂いたことが森君にとっては何よりの励みとなり、今後の活動にも大いに力となることでしょう。一友人として厚く御礼申し上げます。

賛助出演者プロフィール　（敬称略）

中井　猛（なかいたけし）

生田流宮城社大師範　宮城会評議員。昭和３１年菊藤松雨検校に手ほどきを受け、昭和３２年に上京し、宮城喜代子・宮城数江の両師の許にて箏曲・三絃を修め、昭和３４年芸大別科にて小橋幹子師に師事。その間、胡弓を長野武、横井みつゑ師に、笙を宮内庁楽師蘭広晴師に就いて習得。昭和３７年より地唄保存のための採譜を志し、菊岡正吟・菊県琴松・菊原初子・菊峰さえ子・楯久雪子の諸師の許にて、伝承された地唄古典約３００曲を採集し、現在はその録音と楽譜を整理編集中。ビクター「宮城道雄大全集」の編集と解説。東芝レコード「地唄百番」に地唄の稀曲を録音（大阪出身）

富成清女（とみなりせいじょ）

３歳より名古屋国風音楽会、水野花子に師事し箏、三絃を習得。１２歳にて国風音楽会認定「助教授」となる。１９６１年名古屋 CBC ラジオオーディション合格。１９６３年富山清琴（重要無形文化財）に師事、師範となる。１９６６年ＮＨＫオーディション合格。１９６８年ＮＨＫ邦楽技能者育成会１５期終了国内外での公演および TV、ラジオ出演のほか野川流三絃の希少曲の伝承にも努めている。よみうり文化センター・京王カルチャー教室・東急 BE 教室監修。日本三曲協会、生田流協会会員、世田谷三曲協会常任理事。

主な受賞　昭和５８年「大仏」を演奏収録したレコードアルバム「三味線古譜の研究」が文化庁芸術祭優秀賞を受賞平成５年世田谷区より区政功労賞を受賞

富緒清律（とみおせいりつ）

本名　三上律子。東京都世田谷区に生まれる。３才より箏・三絃を母、富成清女に師事。１５才より家元、富山清琴に師事。１９８５年生田流箏・三絃　名取取得。１９８７年ＮＨＫ邦楽技術者育成会３３期終了。学習院大学文学部国文学科卒業。１９９０年富緒の芸姓を受け、師範を許される。
１９９６年ＮＨＫ邦楽オーディション合格。現在ラジオ出演のほか国内外での演奏多数。よみうり文化センター・京王カルチャー教室・東急 BE 教室講師。日本三曲協会、生田流協会会員。世田谷三曲協会常任理事。京都市立芸術大学に本伝統音楽研究センター共同研究員。

樹本佳音里（きもとかおり）

本名　海老原邦江。幼少より母藤井清美に、箏の手ほどきを受ける。12 歳より野村正峰、野村祐子各師に師事。15 歳より金津千重子師に師事。東京藝術大学音楽学部邦楽科卒業。在学中、上木康江、矢崎明子、砂崎知子、芦垣美穂各師に師事。NHK 邦楽技能者育成会 37 期卒業。NHK 邦楽オーディション合格。96 年賢順記念全国箏曲コンクールにおいて首位「賢順賞」受賞。99 年千葉ドルチェホールにてライブ開催。日暮里・和音にてライブ開催。日暮里サニー大ホールにて第 1 回リサイタル開催。2008 年アミュゼ柏クリスタルホールにて第 2 回リサイタル開催。現在、生田流正絃社大師範、さわらび会副会長、森の会会員、我孫子市三曲協会会員、ドルチェ邦楽合奏団首席ソリスト。

山口賢治(やまぐちけんじ)

東京都出身。1967 年生まれ。青山学院大学理工学部物理科卒。 尺八を青木鈴慕（人間国宝）、佐々木晴風、演奏法を石川憲弘に師事。 第 39 期 NHK 邦楽技能者育成会卒。現代邦楽研究所研究科卒。NHK 邦楽オーディション合格。 ドイツ、オランダ、オーストリア、アメリカ、カナダ、中国等国内外で活動。 コンサートシリーズ「尺八の現在」にて尺八を中心とする優れた現代作品の演奏と作品委嘱をライフワークとする。 音楽づくりワークショップの制作やリーダーを務め、新しい音楽教育法を

菅井　愛（すがいあい）

和洋九段女子中学校箏曲部に入部、箏を始める。同中学・高校箏曲部にて中井 猛師の指導を受け、卒業後、同師に入門。法政大学法学部卒。大学時代は上智大学箏曲部の活動に参加し、瀧澤憲一師に指導を受ける。ＮＨＫ邦楽技能者育成会第４６期卒業。中井猛師主宰の胡弓の会「韻」で、国民文化祭ほか各所での演奏に参加。日本芸術文化振興会（国立劇場）に勤務。

水野由果梨（みずのゆかり）

10 歳より正絃社大師範藤井清美氏の手ほどきを受ける。18 歳より･宮城社大師範金津千重子氏に師事。NHK 邦楽技能者育成会 47 期卒業。桐朋学園大学短期大学部音楽科卒業。在学中に野坂惠子氏,滝田美智子氏に師事。現在は十七絃に重点を置いた演奏活動を行っている。さわらび会々員。

石井由希子（いしいゆきこ　作曲家）

千葉県出身。幼時期よりピアノ、作曲、箏曲を学ぶ。作曲を牛腸征司氏に、指揮法を甲斐正雄氏に師事。90 年武蔵野音楽大学作曲学科卒業。92 年第３回「箏・創作フェアー」作曲コンクールにて最優秀賞・朝日新聞社賞受賞。95 年「世界ホルンフェスティバル in やまがた」ファンファーレ募集において、第１位特選を受賞。2000 年　国立劇場作曲コンクールにて入選。現在、日本音楽著作権協会会員、日本作曲家協議会会員。
主な邦楽関係の作品：○尺八四重奏曲「春愁」　○尺八・箏二重奏曲「碧浪の譜」　○尺八・箏コンチェルト「いざない」　○尺八・二十絃箏と吹奏楽による協奏曲「ＳＯＭＥＷＨＥＲＥ」　○尺八・箏合奏曲「祝典序曲」○浦の舟唄　－尺八・箏・三絃・十七絃の為の－○尺八・箏十七絃箏四重箏曲「白い航跡」　○尺八コンチェルト「風雅」他多数

ご 挨 拶

本日は残暑厳しい中、都山流尺八開軒 45 周年（＆古希）記念　森 佳久山尺八リサイタルにご来場いただきまして誠にありがとうございます。尺八を始めて半世紀、今年偶然開軒４５周年と古希が重なったのを口実に、趣味の尺八と人生に一つのけじめをつけようと、身の丈も顧みず個人リサイタルを開催することと致しました。　忙しい会社・日常生活の中でも何とか今日まで続けることが出来ましたのも、素晴らしい諸先生方や邦楽を愛する多くの先輩・仲間との出会い等絶えず刺激・触発される機会・環境に恵まれたことが大きかったと思います。また、この度のリサイタル開催に当たっても地唄・箏曲研究家 中井 猛氏をはじめ邦楽関係者・学友・会社同僚など永年にわたって親しくお付き合いさせていただいた多くの方々から温かいご支援ご協力を賜わりました事、心から感謝する次第です。

最後になりましたが、本日ご来場の皆様、快く助演やスタッフを引き受けていただきました皆様方のご健康とご多幸を心からお祈りすると共に、今後とも旧に倍するご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

㈶都山流尺八樂会　竹琳軒大師範　　森　佳久山

―Profile―

1939 年 7 月生れ。兵庫県出身。

1948 年より都山流尺八を神野生山師、森 維久山師、北原篁山師に師事。中井 猛師より地歌・宮城曲の合奏指導受ける。1964 年都山流尺八開軒、1968 年都山流京都師範検定試験で「首席賞」を受賞。

(財)都山流尺八楽会 竹琳軒大師範。

2000 年イタリア・ミラノ親善公演、2003 年 21 世紀日本・ロシア交流フェスティバル（ハバロフスク市）に千葉・東京邦楽合奏団員として参加。現在演奏活動の傍ら、尺八の原点、虚無僧尺八を善養寺惠介師のもとで研鑽中。洗足学園音楽大学 現代邦楽研究所１０期生卒。（社）日本三曲協会々員、篁山会々員、竹生会々員。坂田誠山主宰ドルチェ邦楽合奏団グループ及び同東京邦楽合奏団々員兼事務局長。

邦楽創造集団「オーラＪ」（芸術監督 三木 稔、代表 坂田誠山）事務局長。

＜職歴＞１９９６年三井海上火災（現三井住友海上火災）理事退任、同社グループ　㈱自動車安全センター取締役社長を経て、２００２年三井住友海上火災グループ　エーシー企画㈱顧問退任。

ご支援・ご協力いただいた仲間・グループのご紹介

（敬称略）

○乙黒晋山（正昭）：舞台監督/「雲井獅子」指揮　　○穂積政美：「雲井獅子」/「風動」助演

○須田朗山：企画・運営責任者/「雲井獅子」助演　　＜以上　竹生会＞

＜出演＞

竹林会：森維久山社中有志　　篁山会：北原篁山社中有志　　竹生会：東京電機大学尺八部 OB 有志

洗足学園音楽大学 現代邦楽研究所（現邦研）尺八 OB　有志

ドルチェ邦楽合奏団グループ（千葉邦楽合奏団・東京邦楽合奏団・神奈川邦楽合奏団）有志

＜スタッフ＞

▣企画・運営・・井口國雄（竹馬の友）　恩田暉雄（会社同僚）　▣司会・・菅井　愛（中井猛社中）

▣受付・・石井恭子（現邦研 OG）　中村幸子（千葉邦楽合奏団）　藤本　玲（徳島邦楽集団）

▣舞台・・門脇央知（オーラＪ）　林　嵐山（東京邦楽合奏団）

▣楽屋・・田嶋つか子（中井猛社中）　▣記録・・栗子照雄（竹生会）・安田疏詠山（東京邦楽合奏団）